

FIRE AND EARTHQUAKE PRECAUTIONS
TERMS AND CONDITIONS
FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

防災の手引き
ご利用規則と宿泊約款



SENDAI KOKUSAI HOTEL

防災の手引き

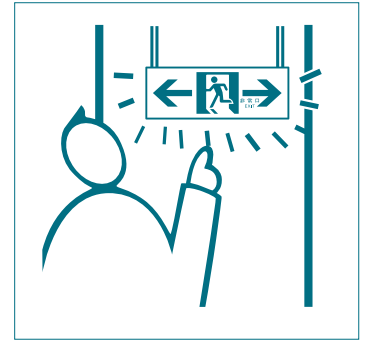
安全のためのご案内です。

ぜひお読みくださいますようお願い申し上げます。



お部屋にお着きになりましたら……

- 入口ドア内側の緊急避難図で、非常口を2ヵ所以上確認して下さい。
- 非常口へは、どのお部屋からも2方向の避難路が用意されておりますので、実際に歩いてお確かめ下さい。
- なお、火もとにはくれぐれもご留意下さい。特に、ベットでのご喫煙はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



火災を発見された場合には……

- ダイヤル5を回し、すぐにフロントは通報して下さい。
- 大声で周囲の人にも知らせてください。
- 煙または臭いなどで火災と思われる場合も、すぐにフロント（ダイヤル5）へ連絡して下さい。

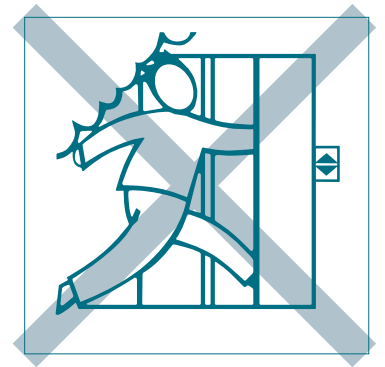


ホテル内で火災が発生した場合には……

- 非常放送により火災の発生をお知らせいたします。
- ホテル従業員が、安全な場所へ誘導しますので、落ち着いて避難して下さい。

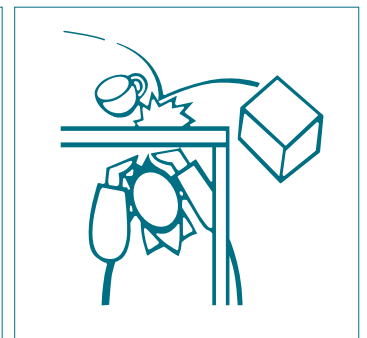
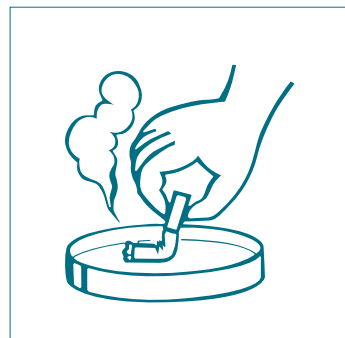
避難される場合には……

- お部屋から外へ出る際には、延焼防止と煙の拡散防止のために、必ずドアをお閉め下さい。
- タオルを水で濡らして、鼻と口を覆って下さい。
- 壁にそって姿勢を低くし、煙と反対方向の避難階段を選んで進んで下さい。
- 避難の際、エレベーターは絶対に使用しないでください。
- 一度避難されてから、貴重品などを取りにお部屋にもどることは、危険ですから絶対におやめ下さい。



地震が起きたら……

- 館内放送の指示に従って下さい。
- 窓ガラスから離れて下さい。
- 落下物に注意し、頭を防護して下さい。
- タバコの火はすぐに消して下さい。
- エレベーターは絶対に使用しないで下さい。



FIRE AND EARTHQUAKE PRECAUTIONS

PLEASE READ FOR YOUR PERSONAL SAFETY

Upon your arrival at your room:

- Take a look at the chart on the inner side of the door and make sure of the locations of at least two emergency exits.
- Each room has two routes leading to emergency exits. Please make sure these directions.
- Please be careful about the potential cause of fire. Particularly, we request you not smoke in bed.

If you should notice a fire breaking out:

- Call the desk (Dial 5) immediately.
- Alert the occupants of other rooms nearby.
- Also call the front desk (Dial 5) immediately when you smell or see smoking like a fire.

If a fire breaks out within the hotel:

- Our emergency announcement within the building will give an alarm for a fire.
- As we will lead our guest to the safety place, please follow us calmly.

When you escape from a fire:

- Do not forget to close the door when get out of the room in order to prevent smoke and flame from spreading.
- Cover your mouth and nose with a wet towel.
- Walk in crouch or crawl along the wall and proceed toward an emergency staircase free of flames.
- Do not use the elevators.
- Do not go back to your room to search for your valuables. Etc.,after reaching safety.

If an earthquake occurs:

- Obey instructions of our broadcasting within the building.
- Keep away from the windows.
- Danger overhead, protect your head.
- Put out cigarettes immediately.
- Do not use the elevators.

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にご滞在頂くため、宿泊約款第10条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。

お守り頂けない場合は約款第7条及び18条により止むを得ずご宿泊又はホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。かつ責任をおとり頂くこともございますので特にご留意下さいますようお願い申し上げます。

<火災予防上お守り頂きたい事項>

- 1.客室内では暖房用、炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込みご使用なさないでください。
- 2.火災の原因となりやすい場所(特にベット内)でご喫煙なさないで下さい。



- 3.その他火災原因になるような行為をなさないで下さい。

Under article 10 of the “Terms and Conditions for Accommodation contracts”, Sendai Kokusai Hotel has established the House Regulation which all guests are required to observe in order to ensure the safety and comfort of hotel guests. If guests fail to comply with this regulation, the hotel reserves the right to discontinue accommodation contract and to refuse use of hotel facilities. Moreover, the hotel reserves the right to request guests to compensate for loss and or damages sustained by the hotel in accordance with article 7 and 18 of the said contract.

<Fire Precautions>

- 1.No heat source may be used in guest rooms for heating, cooking or ironing.
- 2.Smoking in bed or order places where fire is apt to occur is prohibited.

- 3.Any other act that may cause a fire is also prohibited.

<保安上お守り頂きたい事項>

- 1.ご滞在中お部屋から出られる時は、ドア及び窓の施錠をご確認ください。
- 2.在室中や特に就寝の時はドアの内鍵、ドアガードをおかけ下さい。来訪者があった時は不用意に開扉なさらずご確認ください。万一不審者と思われる場合は、直ちにフロントデスク（ダイヤル5）へご連絡下さい。



- 3.ご訪問者と客室内でのご面会をご遠慮願います。
- 4.宿泊者登録者以外のご宿泊は、堅くお断りします。
- 5.現金、その他貴重品は、必ず1階フロントデスク貸金庫へお預け下さい。フロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告がなかったものについては、当ホテルに故意または重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

<Security Measures>

- 1.Be sure to lock the door and window when going out of the room during your stay.
- 2.Lock the door and use the door-chain when retiring or staying in the room. Never open the door before identifying a visitor. If a visitor is deemed suspicious, immediately contract the front desk (Dial 5).

- 3.Visitors are not permitted in guest rooms.
- 4.Guests who are not registered are not allowed to stay over night.
- 5.Money and valuables must be deposited at the front desk on the lobby floor for safekeeping. When loss, breakage or other damages is caused through intention or negligence on the part of the hotel to those which are not deposited at the front desk, the hotel shall compensate the guest for the damage.

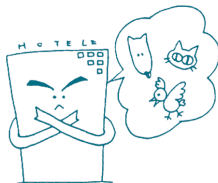


<お支払いについて>

- 1.料金の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手もしくはクーポン券により、5日毎にお支払い頂きます。但し、5日毎以内でも100,000円を超えた場合もしくはホテルから請求があった場合は、フロントにてご精算願います。
- 2.ホテル内のレストラン、バーなどをご署名によってご利用される場合は、必ず客室の鍵か又は、ご到着時フロントでお渡しするインフォメーションカードをご提示下さい。
- 3.都合により、ご到着時お預り金を申し受けることがございますのでご了承下さい。
- 4.旅行小切手以外の小切手でのお支払い及び両替には応じかねますのでご了承下さい。
- 5.航空券、列車・バスの切符、タクシー代、郵便切手代、お荷物輸送等のお立替はお断りさせていただきます。

<おやめ頂きたい行為>

- 1.ホテルに他のお客様の迷惑になるようなものをお持ちにならないで下さい。犬、猫、小鳥、その他の動物、発火または引火性のもの、悪臭を発するもの、その他法令で所持を禁じられるものを持ち込まないで下さい。



- 2.ホテル内ではばくや風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑になるような言動はなさないで下さい。
- 3.ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外にご使用にならないで下さい。施設、備品の現状を変更してご利用なさないで下さい。
- 4.当ホテルの許可なく客室を営業行為などの宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
- 5.ホテルで許可なく広告、宣伝物を配布、物品の販売をしないで下さい。
- 6.廊下やロビーなどに所持品を放置なさないで下さい。
- 7.ホテル外より飲食物の出前をおとりにならないで下さい。
- 8.ゆかた、スリッパで廊下、ロビー等客室以外の施設をご利用なさないで下さい。



- 9.未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可のない限り、お断りさせていただきます。
- 10.不可抗力の以外の事由により建造物、備品、その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失させた場合は、相当額を弁償して頂きます。
- 11.廊下やロビーでの歩行中の喫煙はご遠慮下さい。

<Payment>

- 1.Payment of hotel charges are to be made at the Front Cashier in cash, traveler's checks or coupons recognized by the hotel, every 5 days or in the case when hotel charges exceed ¥100,000 or when requested by the hotel.
- 2.When signing restaurant and bar chits for charging to hotel bills, either the room key or guest card must be presented.
- 3.The hotel may request the guest to pay a deposit for hotel charges upon arrival under certain circumstances.
- 4.Cashing checks and payment of hotel charges by checks(other than traveler's checks) shall not be accepted.
- 5.The hotel will not make payment on behalf of guest for such expenses as shopping charges, tickets, taxi fares or porter charges.

<Following Act are Prohibited>

- 1.To bring into the hotel premise items that may be of nuisance to hotel guests, such as dogs, cats, birds or other animals, inflammable, explosive, or bad-smelling objects, and other illegally possessed articles.

- 2.To gamble, to behave in a manner contrary to public morals or public order, or to annoy other hotel guests.
- 3.To rearrange or move furnitures and fixtures from the set position or use in a manner other than they are designed for.
- 4.To use rooms for commercial activities or purposes other than accommodation without the approval of the hotel.
- 5.To distribute advertising materials or sell goods in the premise of the hotel without approval.
- 6.Personal belongings may not be left in the lobby or in hallways.
- 7.Meals or drinks may not be brought in from establishments outside the hotel.
- 8.Night wear (KIMONO) and slippers are not allowed in the hallways.

- 9.Minors are not permitted to stay at the hotel without parental or guardian consent.
- 10.The management reserves the right to hold guests responsible for damages, contamination or loss caused to any part of the building, its furniture or fixtures.
- 11.Please refrain from smoking in the lobby or corridors.

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条** 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された習慣によるものとします。
2. ホテルが法令及び習慣に反しない範囲で特約に応じた時は、前項の規定に関わらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申し込み)

- 第2条** 当ホテルの宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項の当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて継続の申し入れた場合当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条** 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときは、この限りではございません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料金を限度として当ホテルの定める申込金を当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。
3. 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第11条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りです。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条** 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込を承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条** 当ホテルは、次の掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないものとします。
- (1) 宿泊申込が、この約款によらないとき
 - (2) 満室により客室の余裕が無い時。
 - (3) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (5) 宿泊に関して合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災、施設故障、その他やむを得ない事由により宿泊させられることができないとき。
 - (7) 宮城県旅館業法施行条例第5条第3号に規定する、宿泊しようとする者が泥酔客、精神病者等で他のお客様に著しい迷惑を及ぼすおそれがあると認められたとき。
2. 当ホテルは、次に掲げる場合、または該当する当ホテルが判断した場合において、宿泊契約を締結いたしません。
- (1) 宿泊しようとする者が「暴力団による不当な行為の防止に関する法律（平成3年法律77号）」による指定暴力団及び指定暴力団員等又はその関係者、その他反社会的勢力（以下「暴力団等」という。）であるとき。
 - (2) 宿泊しようとする者が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員であるとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (5) 宿泊しようとする者が当ホテルもしくはその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - (6) 「デリバリーヘルス」等のデリヘル嬢を客室に入れる又は電話をして客室に入れようとするおそれがあると認められるとき。

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条** 宿泊客は当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除した時を除きます。)は別表に掲げるところにより違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知した時に限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後8時(あらかじめ到着時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときはその宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。
4. 前項の規定により解除されたものとみなした場合において、宿泊客がその連絡をしないで到着しなかったことが、列車、航空機等、公共機関の不着又は遅延その他宿泊者の責に帰さないものであることを証明したときは、第2項の違約金はいただきません。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条** 当ホテルは次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除するものとします。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良な風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき、又同行為をしたと認められたとき。
 - (2) 宿泊客が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 宿泊に関して合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (5) 宮城県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
 - (6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。
3. 当ホテルは次に掲げる場合、また該当する当ホテルが判断した場合においては、宿泊契約を解除いたします。
- (1) 宿泊客が「暴力団による不当な行為の防止に関する法律（平成3年法律77号）」による指定暴力団及び指定暴力団員等又はその関係者、その他反社会的勢力（以下「暴力団等」という。）であるとき。
 - (2) 宿泊客が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員であるとき。
 - (3) 宿泊客が、法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。
 - (4) 宿泊客が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (5) 宿泊客が当ホテルもしくはその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - (6) 宿泊客が「デリバリーヘルス」等のデリヘル嬢を客室に入れる又は電話をして客室に入れようとしている事が認められたとき。

(宿泊の登録)

- 第8条** 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます
- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第11条の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときはあらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

- 第9条** 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後1時から翌日正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- | | |
|--------------|---------|
| (1) 超過3時間までは | 室料金の30% |
| (2) 超過6時間までは | 室料金の50% |
| (3) 超過6時間以上は | 室料金の全額 |

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付パンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

(1)フロント、キャッシャー等サービス時間			
(イ)門限	なし		
(ロ)フロントサービス	24時間		
(1)キャッシャー	24時間		
(2)飲食等(施設)サービス時間			
フレンチレストラン	(5階)	11:30~14:30 17:00~21:30	
和食 貴仙	(5階)	7:00~10:00 11:30~14:30 17:00~21:30	
中国料理 翠林		11:30~14:30 17:00~21:30	
メインバー ロイヤルアスコット	(1階)	17:30~01:00	
		日祭日 17:30~24:00	
ラウンジ ロビーラウンジ	(1階)	9:00~20:00	

2.前項の時間は、やむを得ず臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 前項の宿泊料金の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けません。

(当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただしそれが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2.当ホテルは消防機関からの適マーク受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得てできる限りの同一の条件による他の宿泊施設の斡旋するものとします。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について滅失、毀損などの損害が生じた時は、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

2.宿泊客が、当ホテルにお持込になった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客から予め種類及び価額の申告をなかったものについては、当ホテルも故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡します。

2.宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示が無い場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3.前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、前1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準ずるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両キーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えた時は、その賠償の責めに応じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

【別表第1】 宿泊料金等の算出内訳

(第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料(室料(又は室料+朝食料)) ② サービス料(①×10%)
	追加料金	③ 飲食料(又は追加飲食(朝食以外の飲食料)及びその他の利用料金) ④ サービス料(③×10%)
	宿泊料金	イ 消費税

備考1.基本宿泊料はフロント・客室に掲示する料金表によります。

2.税法が改正された場合はその改正された規定によるものとします。

【別表第2】 違約金(第6条2項関係)

契約解除の通知を受けた日	契約申込人数				
	不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般 14名まで	100%	80%	20%		
団体 15~99名まで	100%	80%	20%	10%	
100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注)

1.%は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2.契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を取受します。

3.団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込をお引き受けた日)における宿泊日数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Scope of Application

- Article 1-1** Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
- 1-2** In the case when the Hotel has entered into a special contract dose not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts

- Article 2-1** A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1)Name of the Guest(s);
 - (2)Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3)Accommodation Charges; (based in principle on the basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
 - (4)Other particulars deemed necessary by the Hotel;
- 2-2** In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

- Article 3-1** A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
- 3-2** When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of basic accommodation charges covering the guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- 3-3** The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- 3-4** When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

- Article 4-1** Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 4-2** In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of Accommodation Contracts

- Article 5-1** The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:
- (1)When the application for accommodation dose not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2)When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (3)When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
 - (4)When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (5)When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his Accommodation;
 - (6)When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
 - (7)When the provisions of Paragraph, Article 5 of Miyagi Prefecural Ordinance are applicable.
- Very intoxicated persons, a mental disease and other persons who are deemed likely to trouble other Guest.

- 5-2** The hotel may not accept the conclusion of an Accommodation contract under any of the following cases:

- (1)When the guest seeking accommodation is deemed to be a member of or be linked to a crime syndicate, organized crime groups or any antisocial organizations.
- (2)When the guest seeking accommodation can be detected as a corporation or other groups of which business activities are under control of a crime syndicate or organized crime groups.
- (3)When any acts by antisocial individuals, organizations and correspondents ate considered by the hotel.
- (4)When the guest seeking accommodation are deemed likely to trouble other guest.
- (5)The person who was going to stay performed a violent demand act for this hotel or the employee or when I demanded a burden more than rational ranges
- (6)The guest room a hotel guest sends prostitutes such as "Delivery health" to the guest room or and the guest talk on the telephone.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

- Article 6-1** The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by So notifying the Hotel.
- 6-2** In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable(except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- 6-3** In the case when the Guest does not appear by 8:00PM of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel May regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.
- 6-4** When a reservation has been considered as cancelled in accordance With the previous Paragraph, the Hotel will not require Payment of the cancellation charge if the Guest is able to prove that his failure to appear or notify the Hotel was due to the delay or non-arrival of a train, airplane or other public conveyance and not to any cause due to him.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

- Article 7-1** The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of following cases:
- (1)When the Guest is deemed liable to conduct and or have conducted himself in manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
 - (2)When the Guest can be clearly detected as carrying an Infectious disease;
 - (3)When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
 - (4)When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure
 - (5)When the provisions of paragraph, Article 5 of Miyagi Prefecture Ordinance are applicable;
 - (6)When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the House Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to Avoid the causing of fires).
- 7-2** In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.
- 7-3** The hotel will not cancel an accommodation contract under any of the following cases and in the case when it judges their applications.
- (1)When the guest seeking accommodation is deemed to be a member of or be linked to a crime syndicate, organized crime groups or any antisocial organizations.
 - (2)When the guest seeking accommodation can be detected as a corporation or other groups of which business activities are under control of a crime syndicate or organized crime groups.
 - (3)When any acts by antisocial individuals, organizations and correspondents ate considered by the hotel.
 - (4)When the guest seeking accommodation are deemed likely to trouble other guest.
 - (5)The person who was going to stay performed a violent demand act for this hotel or the employee or when I demanded a burden more than rational ranges
 - (6)The guest room a hotel guest sends prostitutes such as "Delivery health" to the guest room or and the guest talk on the telephone.

Registration

- Article 8-1** The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation;
- (1) Name, age, sex, address and occupation of the guest(s);
 - (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure;
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 8-2** In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charge prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Occupancy Hours of Guest Rooms

- Article 9-1** The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 1:00p.m. till Noon the next day. However, in the case when the Guest is accommodation continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
- 9-2** The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
- (1) Up to 3 hours: 30% of the room charge
 - (2) Up to 6 hours: 50% of the room charge
 - (3) More than 6 hours: room charge in full

Observance of House Regulations

- Article 10-1** The Guest shall observe the House Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Business Hours

- Article 11-1** The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in Guest rooms and others.

	(1) Service hours of front desk, cashiers desk, etc.		
	(a) Closing time	open 24 hours	
	(b) Front service	open 24 hours	
	(c) Cashiers desk	open 24 hours	
	(2) Service hours (at facilities) for dining, drinking, etc.		
14:30	French Restaurant	"Le S' elan"	(5F) 11:30~
			17:00~21:30
	Japanese Restaurant	"Kisen"	(5F) 7:00~10:00
			11:30~14:30
			17:00~21:30
	Chinese Restaurant	"Suirin"	(5F) 11:30~14:30
			17:30~21:30
	Main Bar	"Royal Ascot"	(1F) 17:30~01:00
		Sun. &Holidays	17:30~24:00
20:00	Lounge	"Lobby Lounge"	(1F) 9:00~

- 11-2** The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Payment of Accommodation Charges

- Article 12-1** The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.
- 12-2** Accommodation Charges etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons of credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.
- 12-3** Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

Liabilities of the Hotel

- Article 13-1** The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreement. However, the same shall not apply in case then such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
- 13-2** Even though the Hotel has received the "PASS MARK" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

- Article 14-1** The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- 14-2** When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles

- Article 15-1** The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss breakage or other damage is caused to the goods, cash or valu-

ables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.

- 15-2** The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused through intention of negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000yen except in case where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

- Article 16-1** When the Baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
- 16-2** When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- 16-3** The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of the Paragraph 1, and in the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Liability in regard to Parking

- Article 17-1** The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the guest when the guests utilizes the parking lot of within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the hotel the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Liability of the Guest

- Article 18-1** The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Calculations break down for accommodation charge, etc.

	Contents	
	Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation charges
Extra Charges		(3) Meals & Drinks and Other Expenses (4) Service Charge ((3)×10%)
Tax		(5) Consumption Tax

(Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

Remarks:

Basic accommodation charge is posted at the Front Desk and in each guest room.

	Individual	Group	
	1 to 14	15 to 99	100 and more
No Show	100%	100%	100%
Accommodation Day	80%	80%	100%
1 Day prior to Accommodation Day	20%	20%	80%
9 Days prior to Accommodation Day		10%	20%
20 Days prior to Accommodation Day			10%

Attached Table No.2

Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Remarks:

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation charges.
2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of person booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a